

（キリスト）

協働とは十字架のもとで 力 + 力 + 力（力を合わせ） 傍 楽（働く）ことなり



後藤正史神父

「広島教区宣教司牧活動の基本方針 2006」は、まもなく修正版が発表されますが、基本の柱は変わりません。それは平和、養成、外国人との共生、それに協働です。この基本方針は、各教会あるいは地区あるいは教区で積み上げられてきた活動を反省評価したうえで、祈りと分かち合いと思い巡らしの中からまとめられたものです。ですから、「過去（これまで）を心に刻むことが将来（これから）に向けて歩みを起こすこと」（福者ヨハネ・パウロⅡ世、平和アピール）というメッセージとも符合する作業でした。

平和、養成、共生を支え、促進していく触媒、潤滑材、ジョイントの大切な役目を果たするのが協働ではないでしょうか。これがなくては真の平和は実現しがたいものとなるでしょう。協働は隔ての壁を壊していく力となり、連帯する喜びを生みだします。また、協働は教会のメンバー、キリストの弟子として豊かに養成していく、養成されていく助けとなっていく。例えば、初聖体、受洗などを教会全体で祝います。そこで、自分が教会のメンバー（すなわち手足）であることを実感します。また、葬儀の際は教会を挙げて、故人の永遠の安息を祈ります。わたしたちは血縁をも超えるつなが

りの中で支え合い、生きていることを眼に見えるかたちで証します。母国を離れて異国の地で暮らす人々に寄り添うことは旧約の時代からの教えでした。

わたしたちはまず第一に、主キリストとの協働者です（パウロはキリストの協力者と呼ぶ）。主キリストはいつも帰っていくべき原点（いっどこでも共に主はおられます）、この世のものならぬ力をいただけるというのは何という幸いでしょう。そうして、孤立をも迫害をも乗り越える道が開けていくに違いありません。

協働するには、また自分の狭い知識や経験にこだわらないゆとりやこれまで固守してきたことを時には捨て去る勇気も求められるでしょう。

使徒言行録を読んでいると、キリスト者たちが考えの違いから互いにぶつかったり、葛藤が生じた記事に出くわします。そんな時、わたしは、ある意味ほっとします。あの方、主キリストと共に仰ぎみているかぎり、多少行き違いがあったとしても、共に歩んでいける道が保たれていると確信できるからです。

キリストのいのちが、わたしたちの心の隅々にまで行き渡りますように。

キリストと共にあり、キリストの友となり、力を合わせ、福音を働いていきましょう。

初聖体おめでとう

子どもたちの成長を見守ってください

5月29日に、7人の子どもたちが初聖体を受けました。子どもたちが初めてのキリストのからだとの出会いの感動をいつまでも忘れないよう、皆様の見守り、ご指導よろしくお願いします。



ぶどうの会だより



KT

5月15日、柳田神父様とシスター荒谷含め15名出席。

ぶどうの会の私が良いと思うところは、

- ①主日の聖書を分かち合うこと
- ②初めての人、知っている人の関係なく、分かち合いを通して色々気づけること
- ③分かち合いをみんなが最後まで聞くことです。

初めて会う人の分かち合いを聞くことは、話をしたこともないのに、いきなり心の中を見せてもらう感じがします。それは心と心の出会いの様に感じます。名前も知らないけれど、それも関係ない様な出会いです。

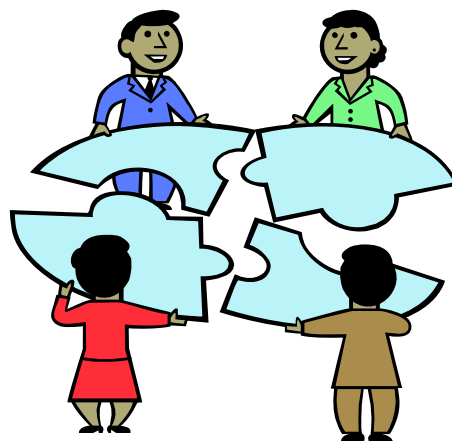
あなたの考えは違いましたなんて言われたいし、もう話さないでとも言われたいから、そのまま居ることができるぶどうの会が好きです。

いろいろな人の色々な思いや感じたことを聞かせてもらえることが、とってもいいです。

どうしてもと言えば、人の色々な思いや感覚と、私の思いや感覚には違いがあるし、それを知れば知る程不思議で、みんなすごいなあ〜とか、そうかそんな風に感じるのかと少し分かって嬉しくなります。そして、私の思いを感じることも、その違いの一つとして受け入れ易くなる様です。それは安心につながります。みんないいです花マルと言われたみたいです。

これからも、みんなの分かち合いが楽しみです。いっぱい気づきをもらえ感謝です。

この便りは、私流ですから異端の意見かもしれない。ぶどうの会を自分の目で心で確かめてみてください。



誌上談話室 わかちあい

先月、このコーナーで提案された「交換日記、兼回覧板」に対して、日記であれば、スピード感がなく、ブログやツイッターの方がより有効なツールではないかという意見がありました。

このコーナーは、家庭での信仰生活や悩み、疑問などについて、誌上で自由に意見を交わしていただくことを目的としています。アンケートやアイデア募集ということではなく、今さら聞けない疑問、生活の中のさまざまな場面で私はどうしたらよいか、理想の信仰生活とは異なる実生活に疑問を持っていることや、他人には話しづらい本音のことなどについて、考えるヒントや悩みの共有を図ることができれば幸いと考えています。

皆さまが、日常生活の中でのささいな気づきや思いなどでも構いません。それについて、同じように感じていらっしゃる方がいるかもしれませんし、そのことについて、過去につまずき、乗り越えた方もいらっしゃるかもしれません。そのような「想い」を募集しています。

短い文でも構いません。また本音の話をお聞きしたいので、ペンネーム等でも受け付けます。

原稿は、広報係のボックスにお入れになるか、
広報係員にお渡しください。

また電子メールでも受け付けます。

メールアドレス

nobori_heiwanokane@yahoo.co.jp

幟町教会の各係・委員会の紹介 社会部 福祉係



福祉係は現在、男性 6 名女性 6 名の合計 12 名で次のような活動をしています。

1. 敬老祝賀会の計画と実施

係員は感謝しながら、毎年どのようにすれば参加者の方々に 1 時間 30 分の時を忘れて楽しんでいただけるかを目標に、計画と実施をさせていただいております。

2. 救護班の設置

教会で大きな行事が開催される時、運営委員会の要請があれば、ご協力いただいている医師・看護師の方々に連絡を取り、救護班を設置しています。

(8 月 5 日の平和行事・12 月 24 日のクリスマスミサ等の年 3 回程度)

敬老祝賀会に関してのご要望について、また、医師・看護師の方で救護班にご協力いただける方は事務室までご連絡をお願いいたします。

皆さまの参加をお願いします。

**合同ブロック会 6 月 26 日(日)9 時半ミサ後
みんなで分かち合いましょう。**

乙女峠祭りに参加して

Y K (高1)

5月3日の乙女峠祭りに参加するため2日の夜に徳佐駅から津和野までお祈りをしながら歩きました。今回は昨年と比べて時間も長く寒かったのですが多くの人が集まり一緒に歩くことができました。

歩く時はお祈りもしますが、違う教会の人たちと自分の教会の話などをすることができ、他の教会のことを知ることもできました。

3日にはミサのお手伝いもやらせてもらいとても良い経験ができました。

来年もぜひ参加したいと思います。

運 営 委 員 会 議 事 録 か ら

日時:2011年5月8日(日) 13:00~15:00

報告事項&連絡事項

1. 津和野乙女峠巡礼報告(5/3)

バスで行ったのは35名で、行き帰りの車内では聖歌とロザリオの祈りを続けた。少し剰余金があり、献金することができた。津和野では、テレビ局の取材があり、NHKで放映された。

2. 平和行事について(8月5・6日予定)

今年のテーマは、“未来への責任2011”です。8月5日は午後2時から、被爆証言を行う。例年通り慰霊碑前の祈りと平和行進もある。5日は午後7時から、6日は午前8時からミサがあり、その後ピースウォークがあります。(幼稚園建替えのため、当日は駐車禁止とします。)

3. 第1回合同ブロック会(6/26 予定)

“平和の使徒となろう”を浸透させるため、これについての分かち合いを考えています。今年の広島教区年間テーマは、“平和の使徒となろう～社会における信仰の証し～”です。教区報・教会ホームページに出ています。

4. ぶどうの会全体会について(7/10 予定)

新受洗者のため、教会の組織の紹介を行う予定。各部の代表から紹介してもらうとよいとの意見あり。

5. 行事予定

- 6月12日(日) 司教様公式訪問&堅信式
- 6月26日(日) 合同ブロック会
- 7月10日(日) ぶどうの会全体会
- 8月5(金)・6(土) 平和行事
- 8月27日(土) 納涼大会(ヨセフ会) バーベキューの予定

審議&討議事項

クリスマス実行委員会立ち上げについて

7月3日(日)からクリスマス実行委員会を行います。エリザベト音大にも参加して頂きます。今年は運営委員会とは別にクリスマス実行委員会を作る。

〈次回〉

6月19日(日) 11:00~第1・3研修室



6月から、敷地内を全面禁煙にしました。

ご理解とご協力をよろしくお願い致します。



編集後記

大震災の中での政治の混迷。おかしいと感じている人は少なくないと思います。リーダーにスーパーマンはいません。政治にしても、日常生活にしても、皆がどのように考え、行動し、どのように力を合わせていくかが大事だと思います。誰かに任せっきりや、不満を言うだけではなく、一人ひとりが今一度省みてもらいたい。他人事ではなく、自分自身の問題として。(ひ)

